

横浜市立池上小学校 令和2年度 体育・健康プラン

～体育・健康に関する指導の全体計画～

1 中期学校経営方針

(1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
自分の思いや願いを実現してベストスマイル	自分で考え、判断し、行動する力

(2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○子ども一人ひとりを大切にし、笑顔あふれる学校にします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの視点に立ち、学ぶことの楽しさが実感できる授業づくりを目指します。 ・自分の思いや考えを自分の言葉で自信をもって表現する子を育てます。 ・豊かな体験を通して「手応え感覚」を味わえるようにします。 ・池上の子どもたちを教職員全員で育てます。 ・自分や友達のよさや違いを認め合えるようにします。

(3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組

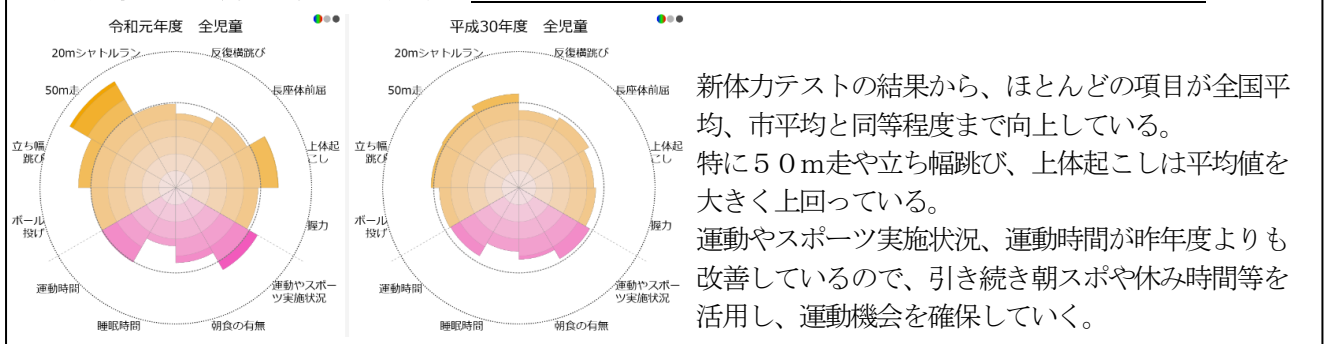
重点取組分野	具体的取組
健やかな体	①朝の時間を有効に使い、体力アップにつながる取り組みを行います。 ②体力テストや健康診断の結果等を保護者と共有し、家庭や地域と連携して、体力の向上、生活習慣の改善を行います。 ③学校保健委員会を年2回開き、保健委員会や各クラスで取り組みを考え、実践します。
担当	体育部 保健部

2 体育健康に関する実態把握

(1) 体育・健康に関する実態

- ・地域に外遊びができる空間が少なく、外で思いっきり体を動かす習慣が身に付いているとは言えない。
- ・「運動やスポーツをどのくらいしていますか（学校の体育の授業を除く）」の質問には、「ほとんど毎日（週に3日以上）」「ときどき（週に1～2日くらい）」と答えた児童は72%で、横浜市の平均とほぼ同じであった。
- ・1校1実践運動（朝スポ）の取組の様子をみると、楽しみにしながらしっかり取り組んでいる子どもがほとんどで、確実に体力アップに繋がっている。継続していきたい。

(2) 体力の概要と要因の分析（小学校は全校配付の体力・運動能力調査分析チャートを活用）



3 体育・健康に関する具体的取組

教科

《体育科での取組》

- ・低・中・高の6年間+中学校3年間の計9年間の系統性を大切にしたカリキュラムをもとに、児童のスキルや学び方が定着、向上するように指導の一貫性を図る。

《他教科での取組》

- ・家庭科や総合的な学習の時間では食育との関係を図る。
- ・生活科、理科では身体の仕組みを学ぶ。

道徳・特活・総合

- ・運動会では、体育科で培った資質能力を発表する。また縦割りグループで活動するようにして各学年に応じた目標をもって活動に取り組めるようにする。
- ・運動委員会では、池上小の児童が進んで運動に取り組めるように、体力向上につながるような活動を企画したり、体育用具の貸し出しをしたりするなどの活動に取り組む。
- ・保健委員会では、池上小の児童が健康を意識して生活できるように、手洗い用せっけんの交換などの常時活動に取り組む。
- ・全児童が学習に取り組む姿勢として「立腰」の姿勢を意識できるように年間通して指導する。

課外活動

- ・夏休み水泳教室
- ・ライフネットスポーツクラブと提携して行う区球技大会
- ・はみがき検査

令和2年度 池上学校 体力向上1校1実践運動

《名称》 朝スポを通して運動の習慣化を図る

《ねらい》 運動機会を確保し、継続して運動に取り組めるようにする。

《内容》 始業前の時間を活用して全児童が運動に取り組める機会を設定する。

(基本活動) 長縄(登校班ごと)、体操、フラフープ、障害物サーキット
シャトルランなど

(運動会前) 運動会用の準備運動や整理運動、障害物走など

(菅田マラソン前) シャトルラン

●指 標 : ①定期的(学期に1回程度)に長縄大会を行い、段階別のカードを用いるなどして自分たちの成長を振り返る。

②生活実態調査「運動やスポーツの実施状況」「1日の運動スポーツの実施時間」から検証する。

※上記計画の予定ではあるが、状況に応じて変更しつつ実践を行う。

※体育・健康プランは学校全体の体育・健康に関する指導の全体計画であり、体力向上の取組である「体力向上1校1実践運動」はその一部です。

<参考> 学習指導要領総則 「学校における体育・健康に関する指導は、児童(生徒)の発達段階を考慮して、学校の教育活動全体を通じて適切に行うものとする。」